

羅針盤 Vol. 4

第4号では、令和4年3月に更新した施設カルテについてお伝えします。



施設カルテ

施設カルテは、市民の皆さんに公共施設の状況を知っていただくため、本市が保有している公共施設のいろいろな情報を施設ごとにまとめたものです。

※本市が保有している施設を対象としています。(令和2年度末現在675施設 基準日：令和3年3月31日)

※道路・橋梁等土木構造物や上下水道施設等のインフラ施設は対象外です。

※毎年度、決算データ等に基づいて更新し、公表しています。

※松本市ホームページでどなたにもご覧いただけます。



施設カルテのQRコード

1

施設情報・棟情報

施設カルテ 基準日 令和3年3月31日

施設情報	
施設名称	市役所本庁舎
所在地	丸の内3-7
所管部署	松本市 財政部契約管理課
設置目的	行政サービスの拠点である市役所庁舎として
施設種別	庁舎・支所
施設番号	0209
施設大分類	行政施設
施設中分類	行政施設
施設小分類	庁舎・支所
用途区分	公用
地区区分	中央
小学校区	新橋小
中学校区	新町中

「分類」は施設を用途・目的ごとに分けたものです。

施設情報
施設名称、所在地、所管課や面積、営業時間など、施設の基本的な情報です。

棟情報
用途・構造・建築年度・耐震情報など施設の棟ごとの情報です。

棟情報	
No.	棟名
1	6
2	7
3	8
4	9
5	10

2

財務情報・施設サービス提供状況

施設カルテ 基準日 令和3年3月31日

施設情報	
施設名称	市役所本庁舎
施設番号	0209
施設大分類	行政施設
施設中分類	行政施設
施設小分類	庁舎・支所

財務情報
直近3年度分の歳入・歳出など財務に関する情報です。

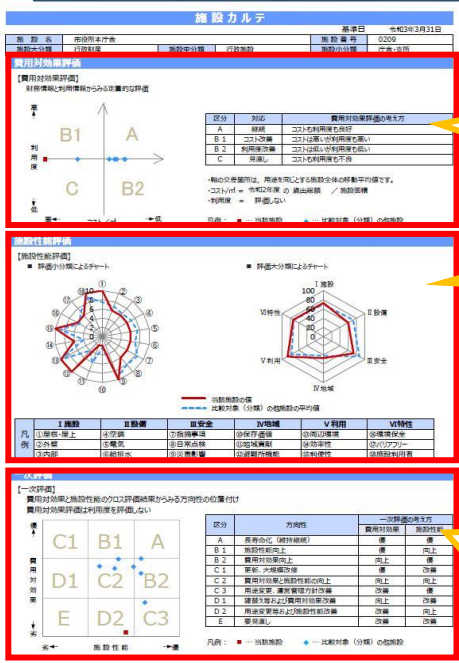
歳入	
歳入	対前年度増減率(%)
繰上	△ 3.6
繰下	88.5
繰入	7,902
繰出	7,820
繰上	14,360
繰下	0
繰入	0
繰出	0
繰上	0
繰下	0
繰入	6,494
繰出	6,027
繰上	12,658
繰下	1,408
繰出	1,593
繰上	1,702

施設サービス提供状況
利用者数・開館日数、各分類の平均値との比較グラフなど、施設サービス提供に関する情報です。

施設サービス提供状況			
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	0	0	0
開館日数	244	240	243

ここで「平均」は、「施設小分類ごとの平均」です。

費用対効果評価・施設性能評価・一時評価



費用対効果評価
施設の「1㎡当りのコスト」と「利用度」からみた定量的な評価です。

施設性能評価
4ページ目の「施設管理者アンケート結果」を使用し、各施設の性能をレーダーチャート形式で見やすくしたものです。

一次評価
「費用対効果評価」と「施設性能評価」の結果を使用し、今後の方向性の考え方を9つの分類に振り分けたものです。

※直近年度のデータを基に機械的に算出するため、評価結果がそのまま各施設の今後の実施方針とな

区分	対応	費用対効果評価の考え方
A	継続	コストも利用度も良好
B 1	コスト改善	コストは高いが利用度も高い
B 2	利用度改善	コストは低いが利用度も低い
C	見直し	コストも利用度も不良

区分	方向性	一次評価の考え方	
		費用対効果	施設性能
A	長寿命化（維持継続）	優	優
B 1	施設性能向上	優	向上
B 2	費用対効果向上	向上	優
C 1	更新、大規模改修	優	改善
C 2	費用対効果と施設性能の向上	向上	向上
C 3	用途変更、運営管理方針改善	改善	優
D 1	建替え等および費用対効果改善	向上	改善
D 2	用途変更等および施設性能改善	改善	向上
E	要見直し	改善	改善

施設管理者アンケート結果

施設管理者アンケート結果				
区分	方向性	費用対効果	施設性能	一次評価
A	長寿命化（維持継続）	優	優	優
B 1	施設性能向上	優	向上	優
B 2	費用対効果向上	向上	優	優
C 1	更新、大規模改修	優	改善	改善
C 2	費用対効果と施設性能の向上	向上	向上	向上
C 3	用途変更、運営管理方針改善	改善	優	優
D 1	建替え等および費用対効果改善	向上	改善	改善
D 2	用途変更等および施設性能改善	改善	向上	向上
E	要見直し	改善	改善	改善

先進他自治体の取り組み紹介コーナー

福岡県飯塚市(人口13万人)

小中一貫校建設事業 (幸袋中学校区小中一貫校)

事業の概要

学校施設の老化が進行するとともに、人口(児童・生徒)が減少することを踏まえ、2つの小学校及び1つの中学校を施設一体型の小中一貫校として集約する。(小学校に併設されている児童館も同時に移転し、統合。)

事業のポイント

小中一貫校の施設整備に当たり、保護者や地域住民に対して、アンケートと意見交換を行った。

○学校再編整備等に関するアンケート

市全体における学校の再編整備計画に当たり、保護者や地域住民に対して、アンケートを実施した。

- アンケートの内容**
- 小規模な学校編成(1学年1学級など)が存在していることに対する考え方
 - 小中一貫教育の効果
 - 老化による建替えの是非
 - 小学校及び中学校の通学方法及び通学距離

アンケートを踏まえ、「飯塚市立小学校・中学校再編整備計画」を策定した。計画では、12の中学校区それぞれについて再編の方針が定められ、幸袋中学校区においては、幸袋小学校、目尾小学校及び幸袋中学校を施設一体型の小中一貫校として統合することとされた。

事業の効果

- 建設する小中一貫校の整備方針及び建設適地について、保護者や地域住民が主体となって検討したこと、今後導入される小中一貫教育を地域全体で支えることが期待される。

○建設適地の比較検討

「飯塚市立小学校・中学校再編整備計画」に基づき新たな学校を建設するため、保護者や地域住民を中心に建設適地を検討した。市が提示した3つの候補地について、保護者全員を対象に実施した候補地選定に関するアンケートを参考に、周辺環境や通学路の安全性等、10項目(49細項目)の採点を行った。

保護者及び地域住民により構成される「小中一貫校建設基本構想検討会」において、上記の採点等を参考に、それぞれの候補地について意見交換しうえて、投票による選定を行った。

自治会長、PTA及び有識者で構成される「建設適地検討協議会」にて①安全性、②周辺環境、③通学距離の観点から再度選定を行い、教育委員会に建議した。

こちらでは、先進の他自治体でどんな取り組みをしているのかをお伝えしていきます。

今回は福岡県飯塚市の事例です。児童数の減少を踏まえ、2つの小学校と1つの中学校を施設一体型の小中一貫校へ。さらに併設の児童館も統合し、合計4つの施設を1つに集約しています。



お問い合わせはこちら

次号予告

施設ごとの今後の方向性や対策等を示す、「個別施設計画」についてお伝えします。

松本市 総務部
公共施設マネジメント課

〒390-8620
松本市丸の内3番7号
TEL: 0263-34-3282
E-mail: k-shisetsu@city.matsumoto.lg.jp